

「イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲があった時代だ。いつまであなたがたと一緒にいなければならぬのか。いつまであなたがたに我慢しなければならぬのか。その子をわたしのところに連れてきなさい。」マタイの福音書 17章17節

17章には山の上と山の下 の出来事が描写されています。

山の上では、天上を思わせる荘厳な出来事と主への礼拝がありました。イエス様は光り輝く姿へと変わり、そこに旧約聖書を象徴するモーセとエリヤが現れたのです。

立ち会ったペテロたちには衝撃的な出来事でした。彼らが跪いて主を礼拝し、恐れおのいたのは無理もないことでしょう。

ルカの福音書によればイエス様とモーセ、エリヤが語り合ったのは、イエス様の十字架についてでした（ルカ九31）。

私たちの主は天でも罪人のために心を痛

め、罪人を救うことに心を向けてくださる御方です。そして自ら天から下り地上に来てくださいました。アドベントを迎えるにあたり、主の献身を思い出しましょう。

また礼拝の場で十字架が語られたように、礼拝は主の十字架と復活を想起する場です。私たちもその心をもつて礼拝しましょう。

山の下には苦しむ人の姿がありました。主は苦しむ人々を救うために地上に降られたのです。苦しむ人のそばには弟子たちがいました。今は教会という形で私たちキリスト者が遣わされているということです。

このとき弟子たちは悪霊につかれた子ど

もを助けることができませんでした。弟子たちにはすでに病人を癒し悪霊を追い出す霊的な力が付与されていました（10章）。それを行使できなかったのは、彼らの訓練が足りていなかったからです。

私たちの周りにも罪の世に苦しむ人がいます。地上には罪による様々な問題が満ちています。そこに主の救いを届けるためには、私たちも学び続け訓練される必要があります。教会は祈りとみことばをもって問題に対処することが大前提ですが、誤った精神論のように唱えられて自己満足に陥るならば主の救いと助けをこの時代の人々に届けることができません。

地上に来られた主は「わたしのところに連れてきなさい」と仰います。その言葉は、今の時代は教会が託されていることを覚え、私たちも世に目を向けましょう。（泰）

## 【報告 消息】

・有志ボランティアによる食品配布プログラム  
の状況について

12 / 4 (土) に予定の食品配布に向けて社会福祉協議会の助言・協力のもと準備が進んでいます。地域住民・教会員から物品もささげられ、初めての取り組みとしては順調と見受けられます。お祈りをよろしく願います。

■青年キャンプのためにお祈りください。

日程 11 / 20 (土) 夕〜21 (日) 朝

・聖餐式 1年半ぶりに執行できてうれしかったです。感染対策で通常とは異なる形のため試行錯誤もありましたが大きな問題もなく感謝でした。

次は12月5日を予定しています。

礼拝出席が難しい方には牧師が訪問して聖餐を共に致します。また、聖餐式執行日に礼拝出席が難しい方には他の日に聖餐を共にすることもできます。聖餐は私たちがキリストの命に生かされていることを確認する大切な場です。秩序を守る事が前提ですが、コロナ禍で長らく控えざるを得なかった事情があるため、今はできる限り聖餐を共にして霊の回復を得たいと願っています。牧師までご相談ください。

会場 蒲田教会  
・教会には泊まりません  
・食事も個食・黙食です。

10名程の参加予定。コロナ禍で顔を合わせる機会がなく、青年層でも教会から足が遠のいている人がいます。学び会と交わりを中心に行い、日曜日は礼拝を共にして解散します。お祈りください。

【教勢報告】 11月7日

第1礼拝 25名

第2礼拝 34名

小学科礼拝 1名

ホザナ礼拝 中2名 高1名